

IR1101でのブートフラッシュクリーンアップの トラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[問題の説明](#)

[IR1101のCLIからの出力](#)

[シナリオ](#)

[回避策](#)

はじめに

このドキュメントでは、自律モードで動作するCisco IR1101ルータのソフトウェアアップグレードの問題を特定し、軽減する手順について説明します。

問題の説明

この記事は、IR1101のアップグレードに関するField Notice FN74237に対応しています。

2024年12月15日より前に発注および出荷され、Autonomousモードで動作し、17.9.xバージョン以降を実行しているIR 1101ルータは、ソフトウェアアップグレードを実行するためにフラッシュスペースが減少する影響を受ける可能性があります。該当するルータには、フラッシュにロードされた.binファイルと.pkgファイルの両方が含まれます。

IR1101のCLIからの出力

フラッシュ上の.binファイルと.pkgファイルを示す出力スニペット。

IR1101-2# dir bootflash:

62602-rw-63697069 2023年8月8日 12:44:50-05:00 ir1101-rpboot.17.09.01.SPA.pkg

62605-rw-674161724 2022年7月31日 16:33:58-05:00 ir1101-mono
universalk9_iot.17.09.01.SPA.pkg

62611-rw-675136809 2023年8月8日 12:37:22-05:00 ir1101-universalk9.17.09.01.SPA.bin

シナリオ

Autonomousモードで稼働しているルータは、バンドルモードでもインストールモードでも、特定のシナリオ、特にログやクラッシュファイルが累積されたためにブートフラッシュがいっぱいになった場合に、アップグレードの制限を受ける可能性があります。アップグレードを進める前

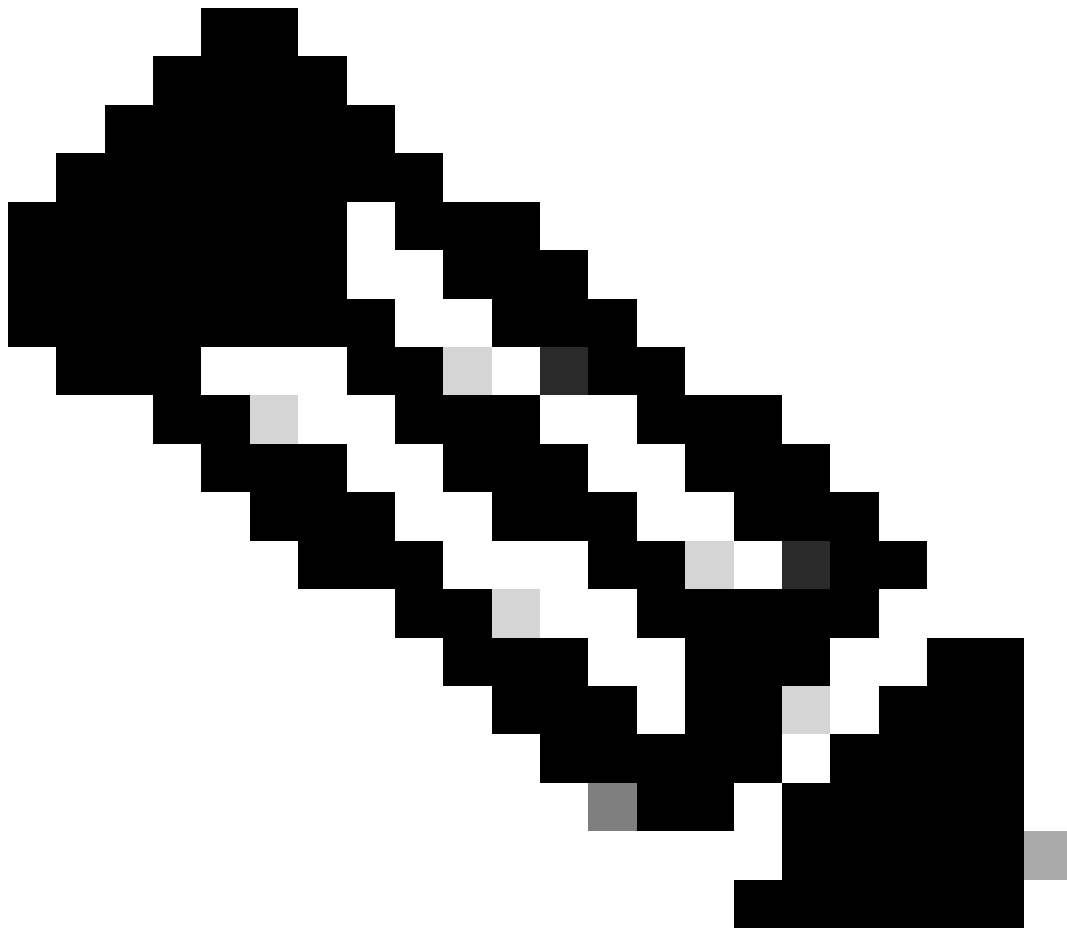
に、不要なファイルとフォルダを削除してブートフラッシュを消去する必要があります。

回避策

未使用のイメージ、.confおよび.pkgファイルをフラッシュから削除します。

また、自動化された方法では、EEM/Pythonスクリプトを使用してファイルをクリーンアップします。このリンクには詳細な手順と手順が記載されています。

https://github.com/CiscoDevNet/IR1101_flash_cleanup/



注：スクリプトを実行する前に、「read me」手順ファイルを確認してください。

「install remove inactive」コマンドは、インストールモードでブートされたデバイスの未使用のソフトウェアパッケージをクリーンアップする最も安全で効率的な方法です。このコマンドは、古い非アクティブなソフトウェアイメージおよびパッケージをブートフラッシュから削除し、実行中のシステムに影響を与えずに領域を解放して、アクティブなソフトウェアだけが残るように

します。

これらのコマンドを使用してファイルを削除すると、アップグレードを正常に行うことができます。

```
delete /force /recursive bootflash:/install_repo
delete /force /recursive bootflash:/staging
delete /force /recursive bootflash:/core
delete /force /recursive bootflash:/admintech
delete /force /recursive bootflash:/tracelogs
delete /force /recursive bootflash:/syslog
delete /force /recursive bootflash:/crashinfo_*
delete /force /recursive bootflash:/rollback_timer*
delete /force /recursive bootflash:/license_evlog/.log
delete /force /recursive bootflash:/collated_log
delete /force /recursive bootflash:/lost+found
delete /force /recursive bootflash:/admintech_trace
```

ルータがバンドルモードで動作している場合は、.binファイルを削除しないでください。ただし、.pkgファイルと.confファイルは安全に削除できます。次のコマンド例を使用して、現在実行中のイメージを確認し、使用されていない.binファイルをすべて削除します。

例：

```
Router#show version | include System image
```

```
System image file is "bootflash:ir1101-universalk9.17.11.01a.SPA.bin"
```

```
Router#
```

```
Router#dir bootflash: | include .bin (Delete older images which aren't in use one by one as below)
```

```
delete /force /recursive bootflash:/img*.bin
```

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。